

決算説明会

2023年3月期 第3四半期

ミネベアミツミ株式会社

2023年2月3日

3Q連結業績サマリー

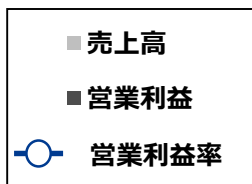
売上高は四半期として過去最高

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	3Q	2Q	3Q		
売上高	304,348	330,021	371,424	+22.0%	+12.5%
営業利益	25,832	26,394	26,432	+2.3%	+0.1%
税引前利益	25,122	28,184	20,463	-18.5%	-27.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	18,395	20,060	13,148	-28.5%	-34.5%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	45.42	48.62	31.87	-29.8%	-34.5%

為替レート	2022年3月期 3Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q
US\$	112.47円	135.32円	144.25円
ユーロ	130.44円	139.28円	143.93円
タイバーツ	3.39円	3.79円	3.89円
人民元	17.52円	20.05円	20.22円

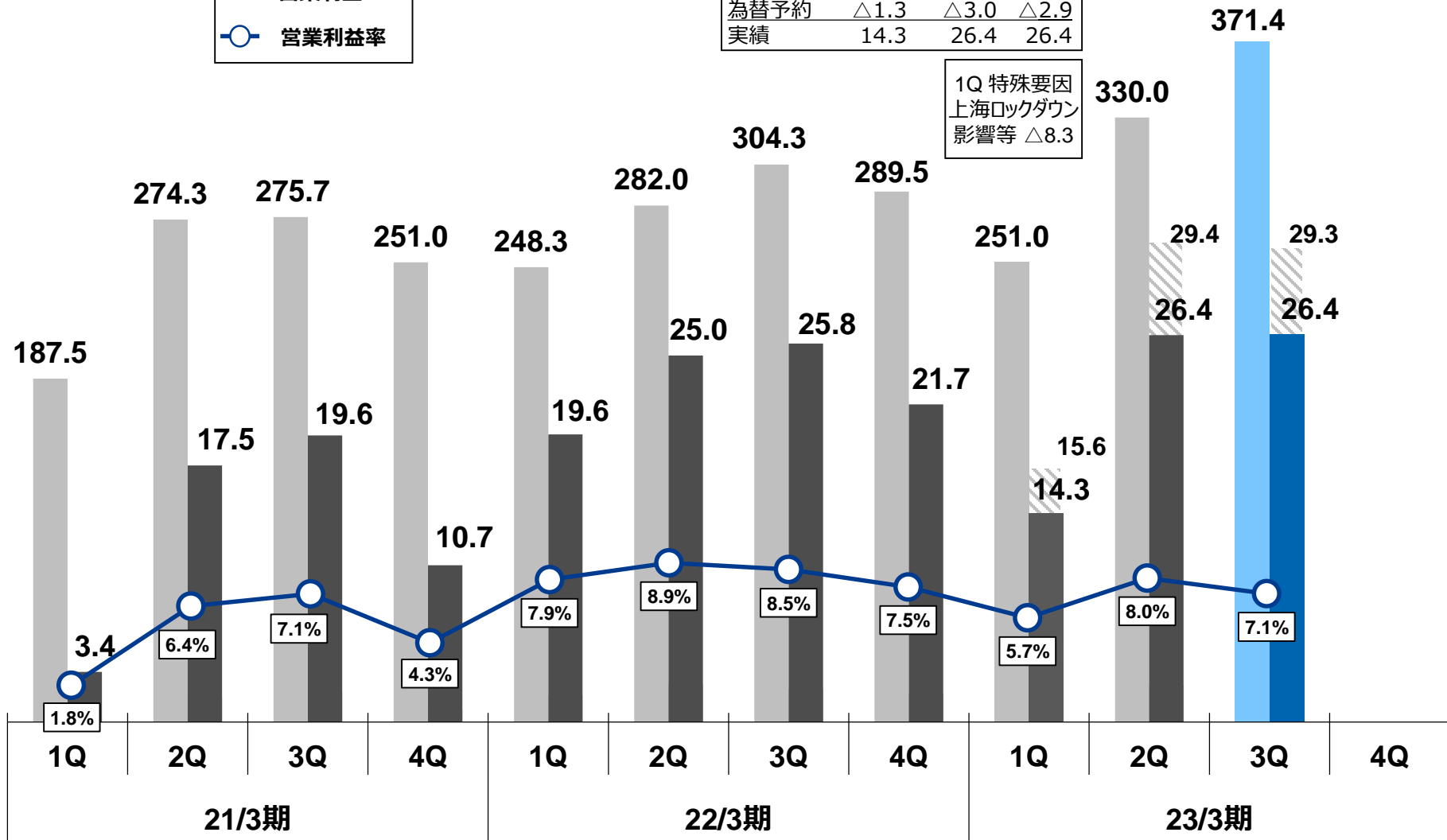
売上高、営業利益、営業利益率

(10億円)



	1Q	2Q	3Q
為替除く	12.8	21.0	27.4
為替影響	+2.8	+8.4	+1.9
為替予約	△1.3	△3.0	△2.9
実績	14.3	26.4	26.4

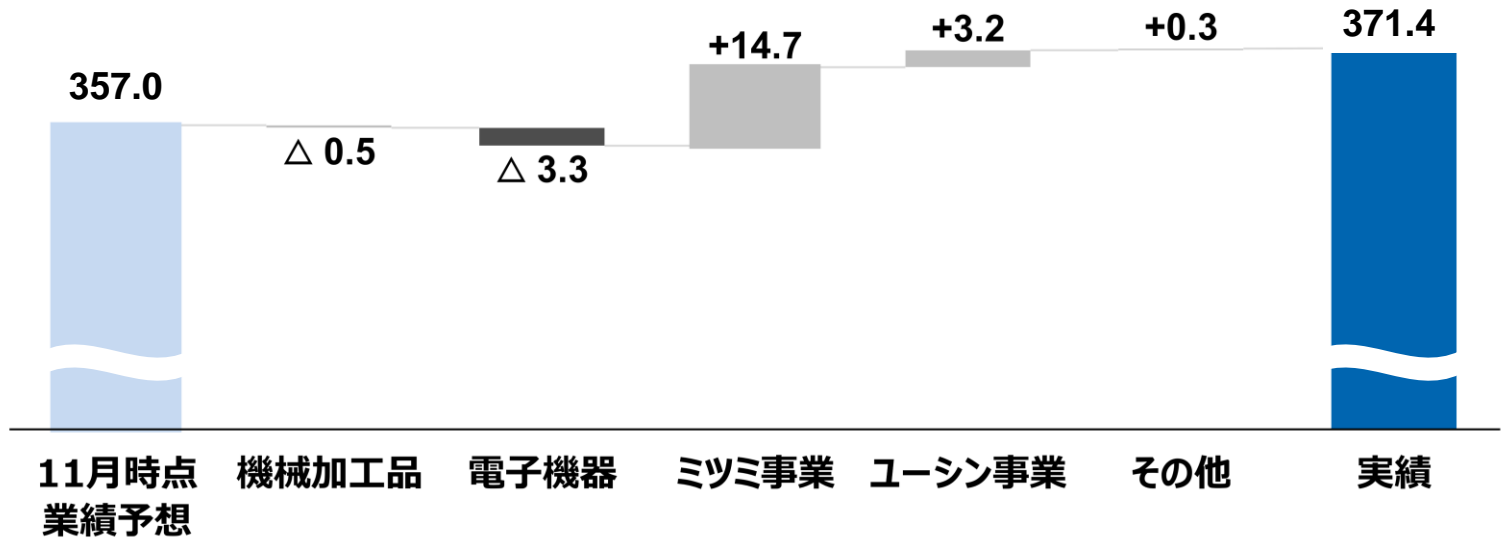
1Q 特殊要因
上海ロックダウン
影響等 △8.3



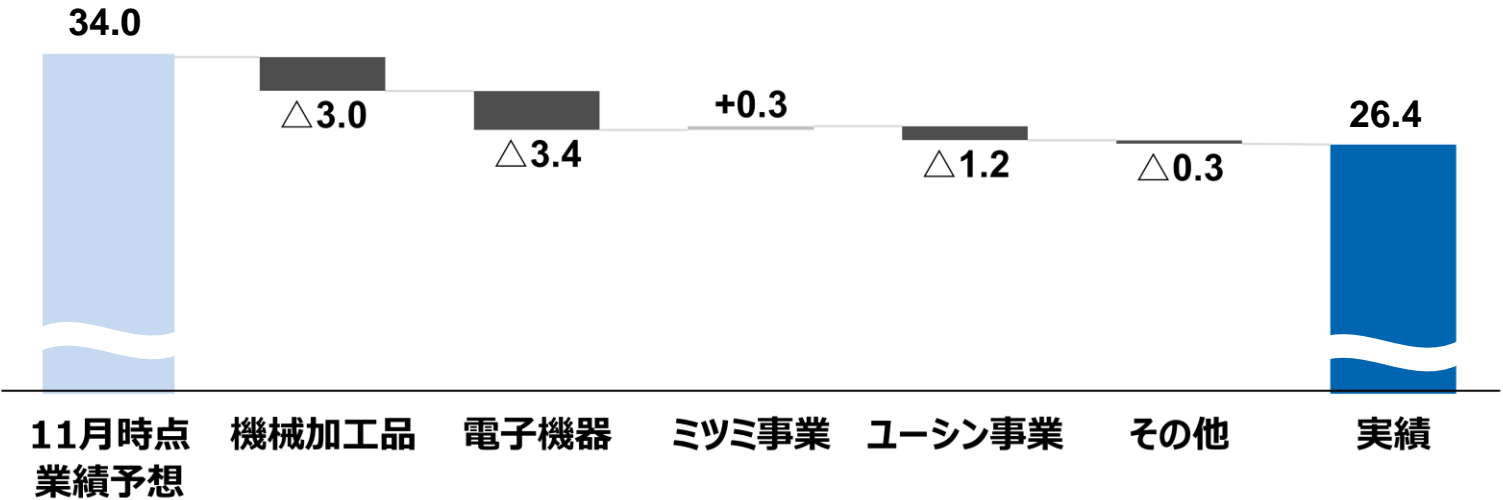
3Q実績 11月時点業績予想からの差異

(10億円)

売上高

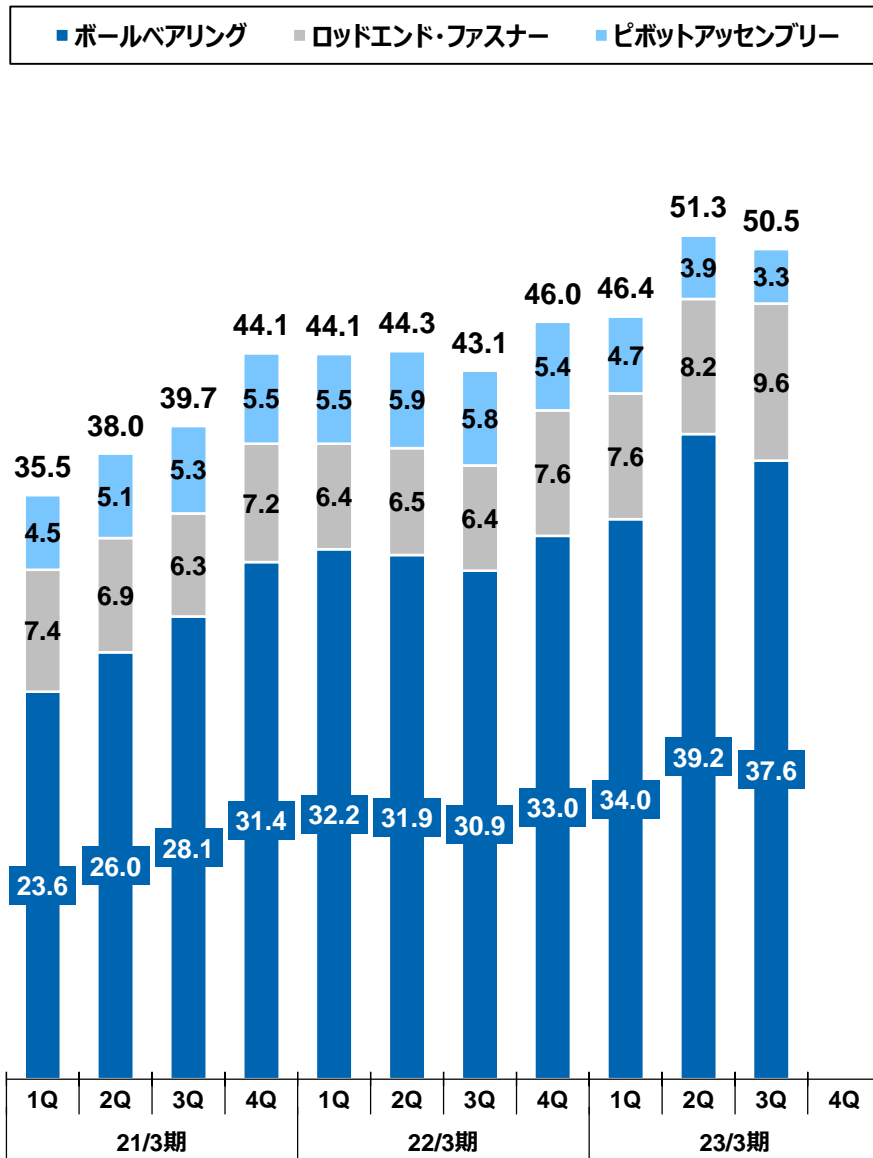


営業利益

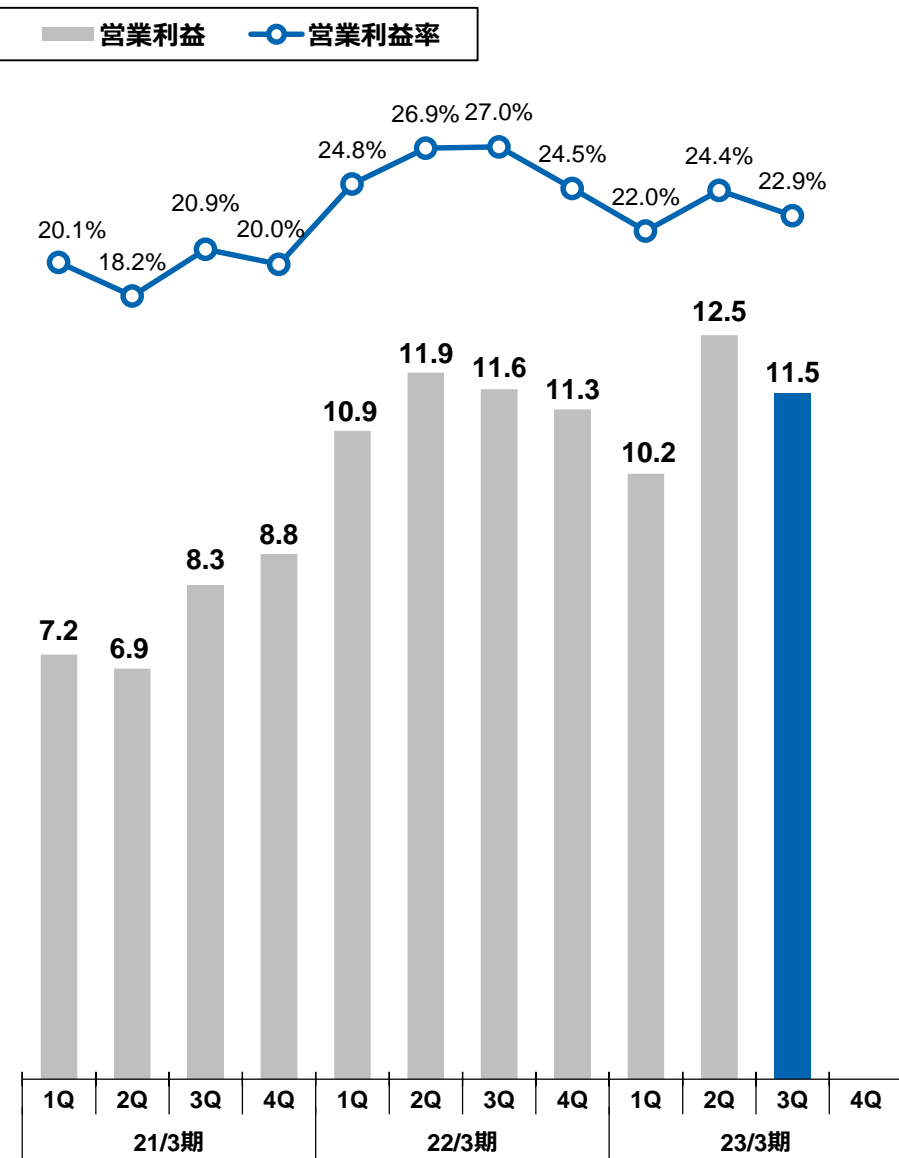


機械加工品セグメント

売上高 (10億円)

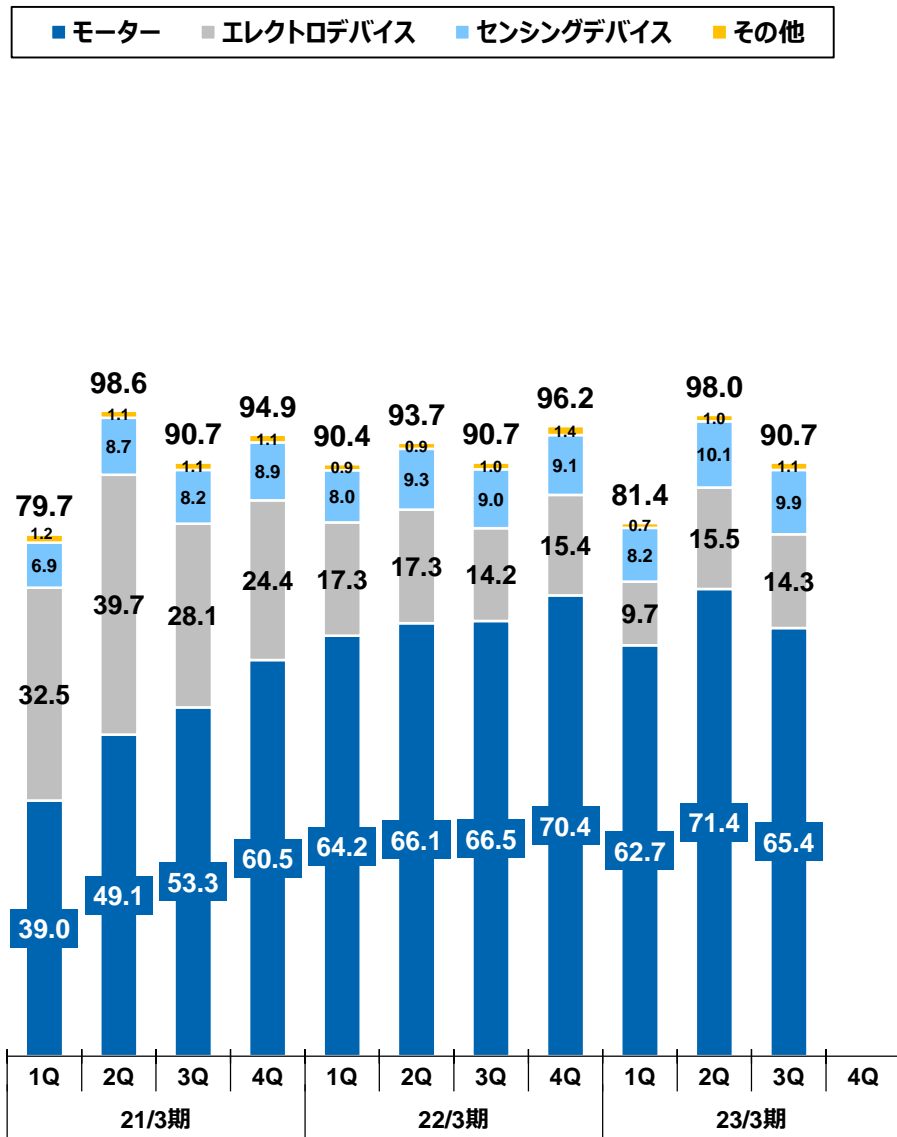


営業利益 (10億円)

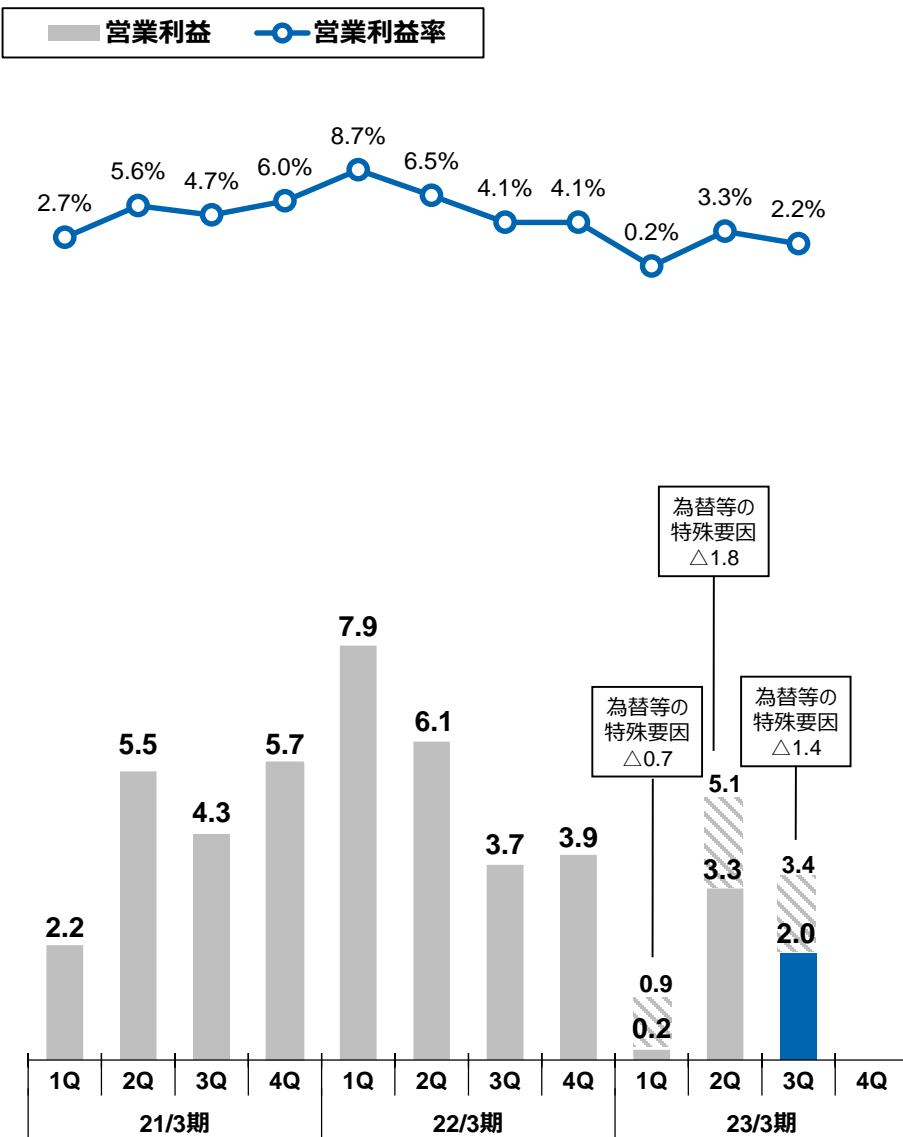


電子機器セグメント

売上高 (10億円)

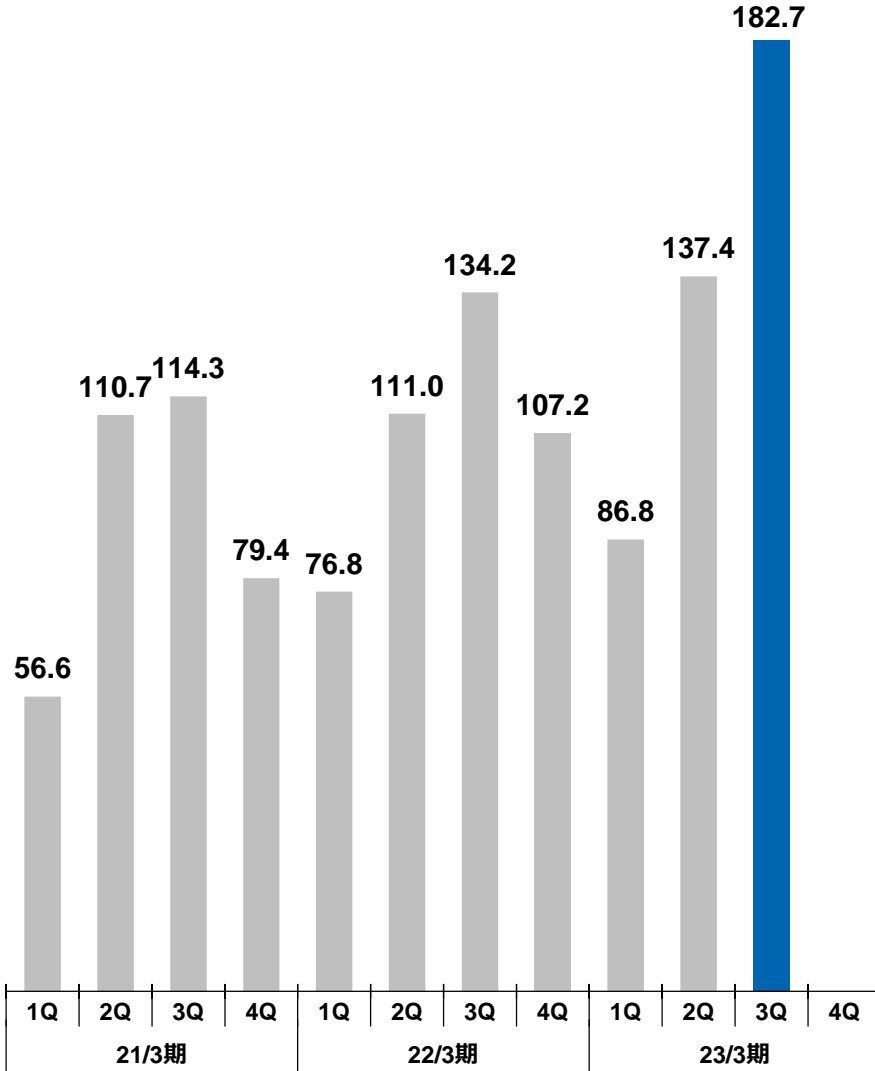


営業利益 (10億円)

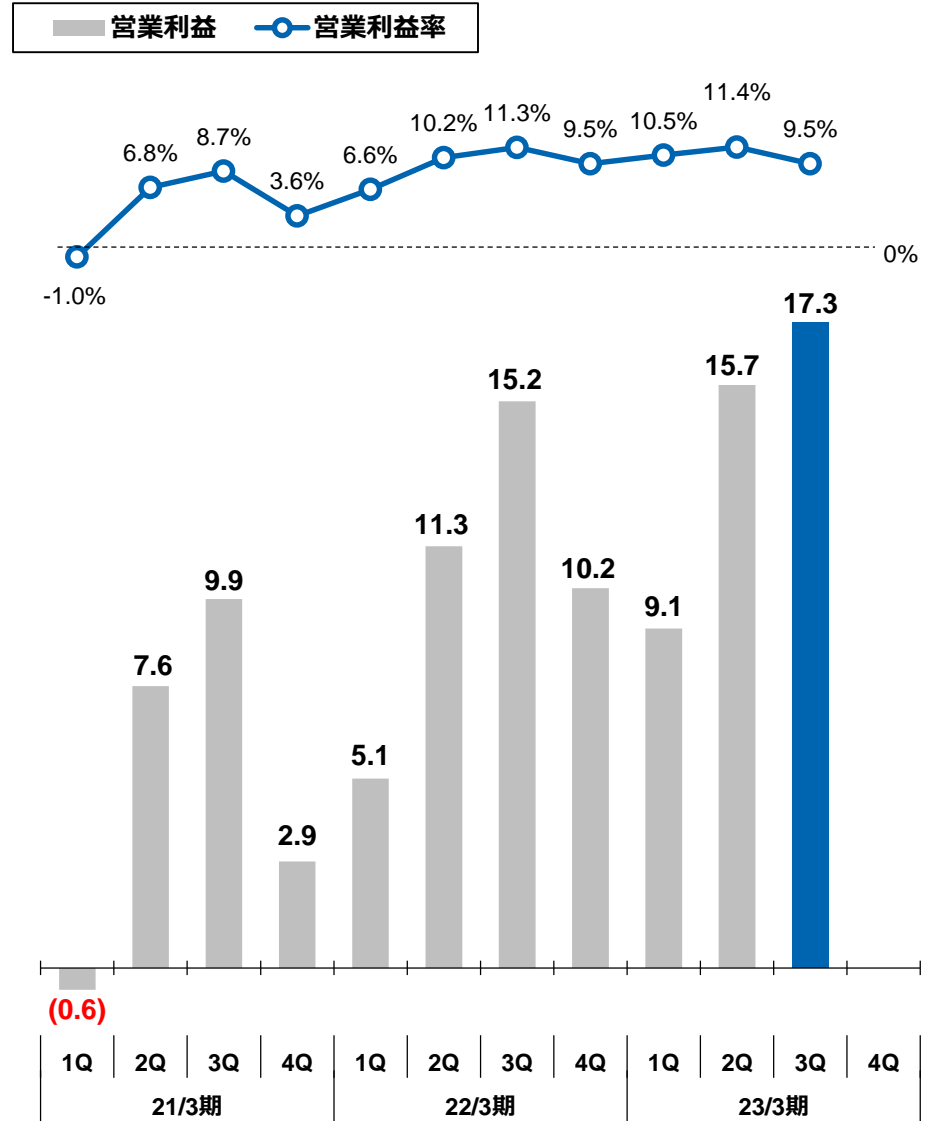


三菱事業セグメント

売上高 (10億円)

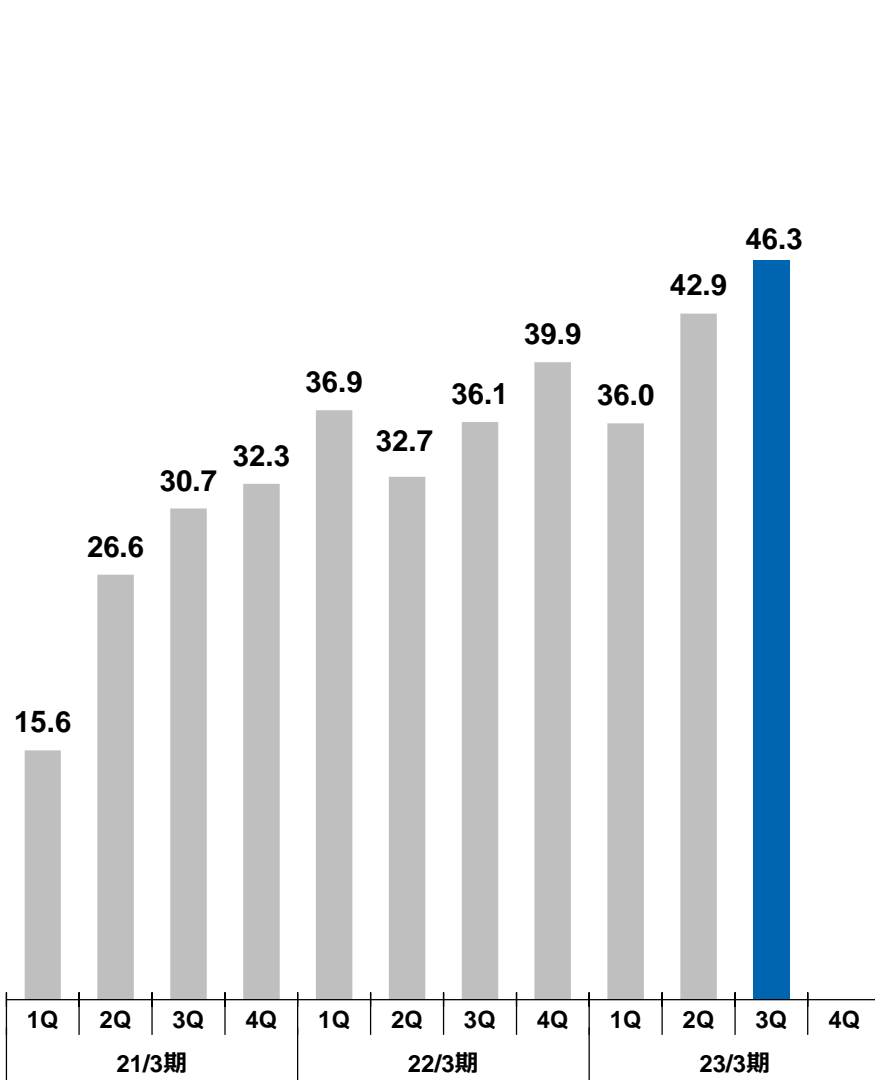


営業利益 (10億円)

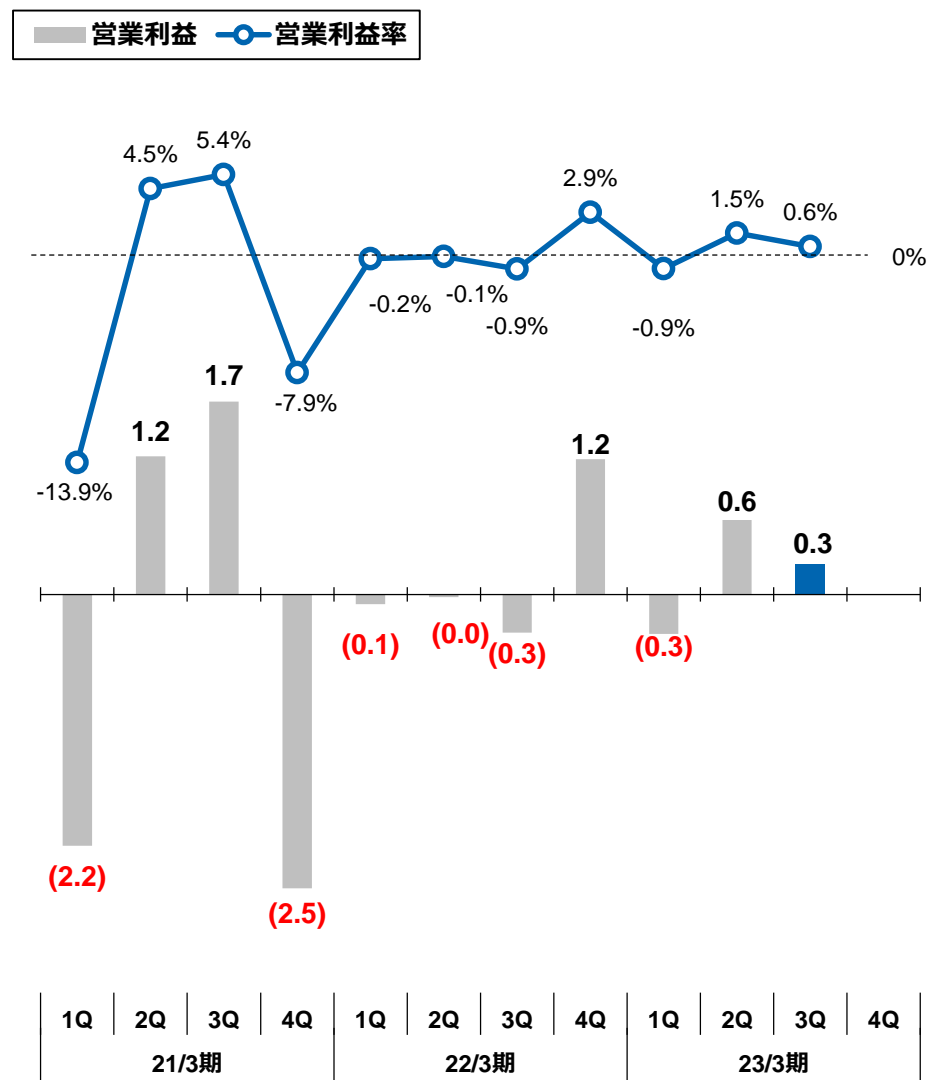


ユーシン事業セグメント

売上高 (10億円)



営業利益 (10億円)

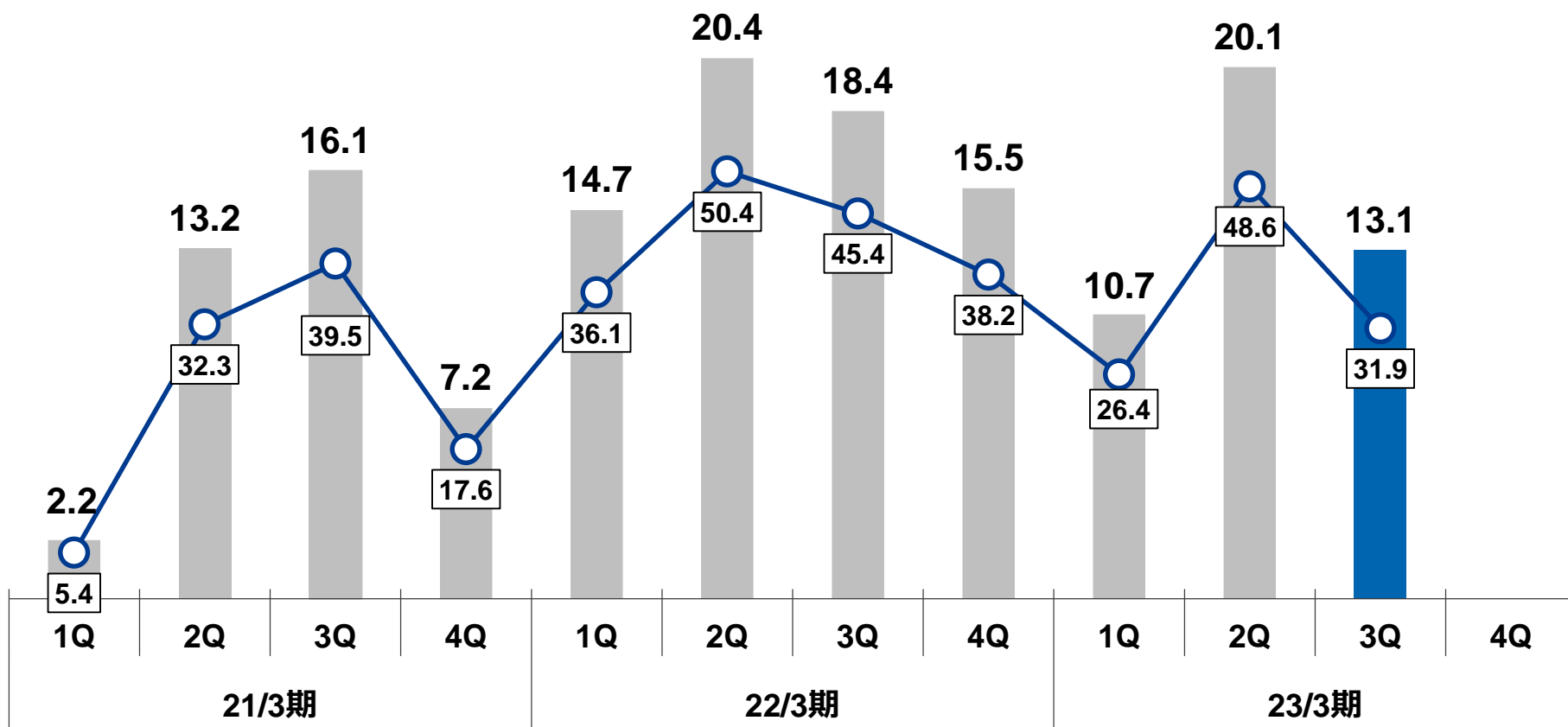


親会社の所有者に帰属する四半期利益

(10億円)

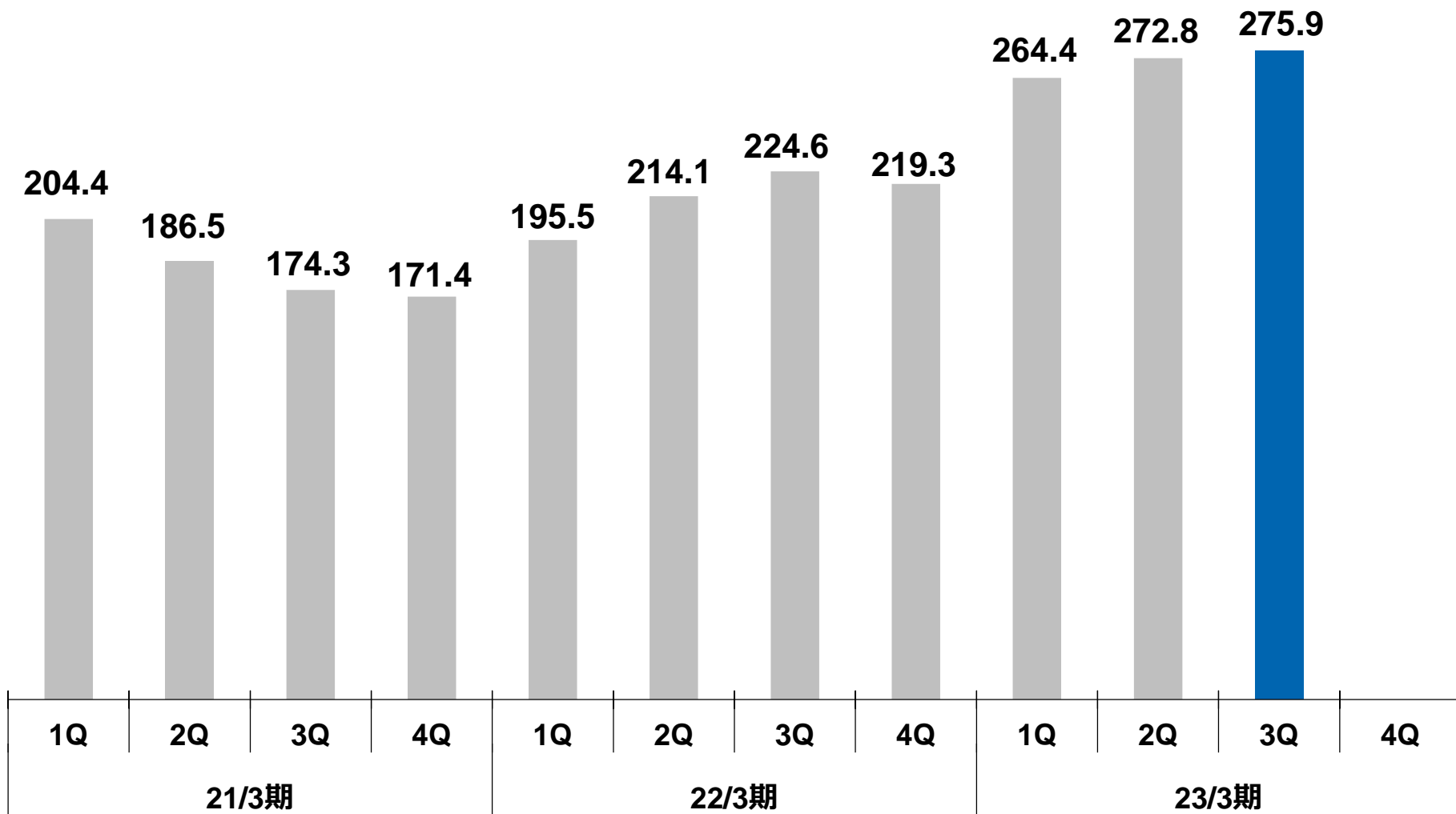
■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

○ 基本的1株当たり四半期利益 (円)



棚卸資産

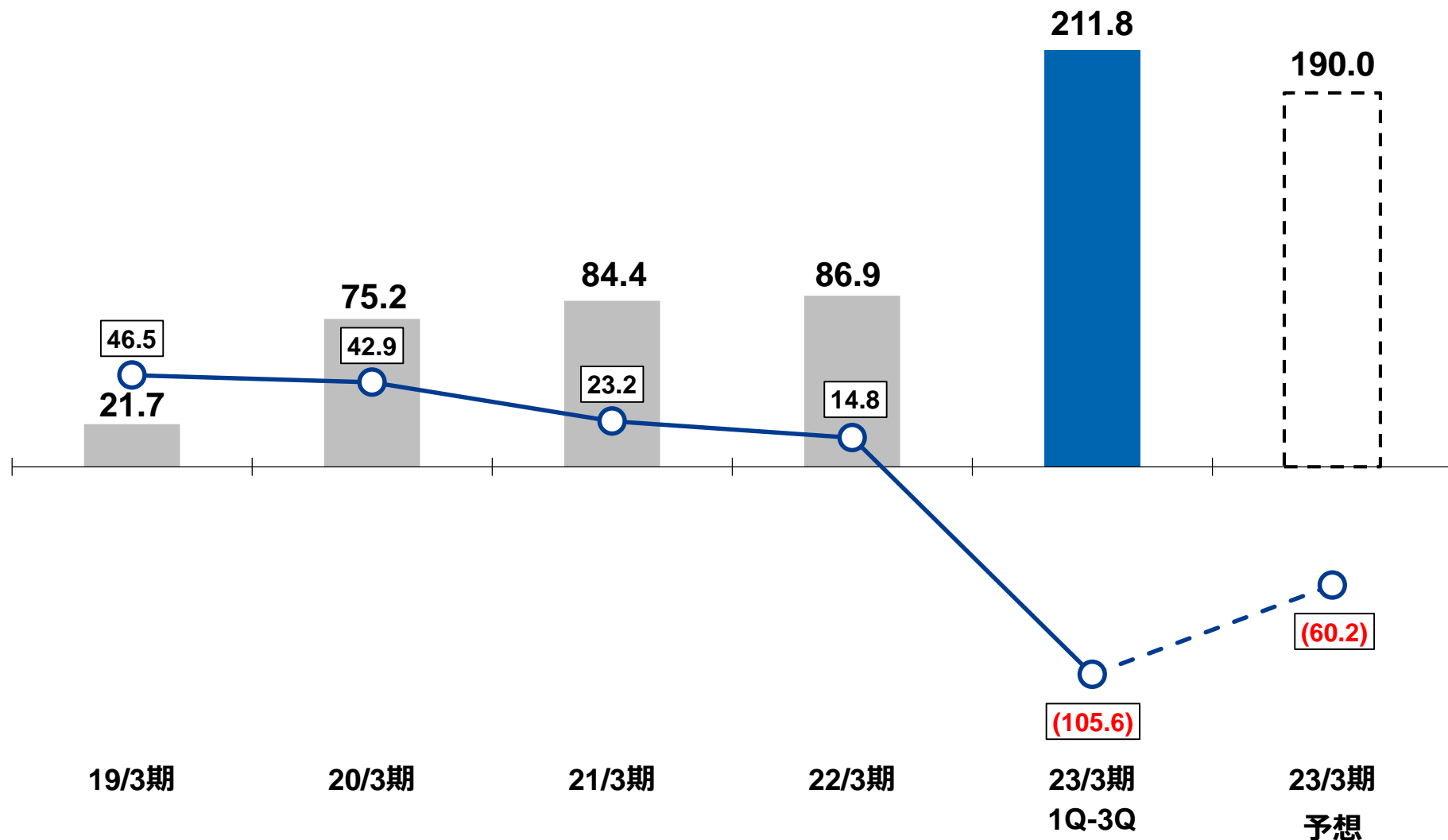
(10億円)



ネット有利子負債、フリーキャッシュフロー

(10億円)

■ ネット有利子負債* ○ フリーキャッシュフロー



*ネット有利子負債：連結財政状態計算書上の「社債および借入金」 - (「現金および現金同等物」+3か月超の定期預金)

通期業績予想を修正 売上高、営業利益等、すべて過去最高を更新へ

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,124,140	581,061	718,939	1,300,000	+15.6%
営業利益	92,136	40,649	59,351	100,000	+8.5%
税引前利益	90,788	42,458	52,542	95,000	+4.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	68,935	30,794	40,206	71,000	+3.0%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	170.08	75.22	97.54	172.76	+1.6%

為替レート	2022年3月期 通期	2023年3月期 4Q想定
US\$	111.55円	125.00円
ユーロ	130.47円	135.00円
タイバーツ	3.44円	3.85円
人民元	17.35円	19.00円

セグメント別業績予想

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,124,140	581,061	718,939	1,300,000	+15.6%
機械加工品	177,470	97,688	97,312	195,000	+9.9%
電子機器	371,023	179,405	184,595	364,000	-1.9%
ミツミ事業	429,116	224,164	318,836	543,000	+26.5%
ユーシン事業	145,577	78,946	116,054	195,000	+33.9%
その他	954	858	2,142	3,000	3.1倍
営業利益	92,136	40,649	59,351	100,000	+8.5%
機械加工品	45,717	22,726	21,274	44,000	-3.8%
電子機器	21,561	3,463	3,537	7,000	-67.5%
ミツミ事業	41,846	24,793	25,207	50,000	+19.5%
ユーシン事業	732	301	3,699	4,000	5.5倍
その他	△1,429	△692	△308	△1,000	-
調整額	△16,291	△9,942	5,942	△4,000	-

全体

- 3Qはデータセンター関連を中心とした市場減速による販売減と急激な為替変動などの影響により、**営業利益は未達**となった。
- 上記を踏まえて4Qは稼働の抑制を行うが、**通期の営業利益はついに1,000億円を達成へ。**
- 固定費を圧縮、コネクタ及びアクセス製品のシナジーを加速し、**来期の成長**にむけた布石を打つ。

機械加工品

- ボールベアリングは生産減の影響により収益性が若干低下。
- 航空機関連はいよいよ本格的な回復局面へ。

電子機器

ミツミ事業

- モーター事業はHDD市場の調整影響あるも、それ以外のモーターは概ね堅調に推移。HDDは12月が底で客先在庫調整は終了。
- ミツミは経営統合以前を含め**過去最高益達成へ。**
- アナログ半導体は若干減速も、高い収益性を維持。

ユーシン事業

- ホンダロックの統合による収益の上乗せ。
- 高付加価値製品へのシフトを継続。

通期業績予想を修正

さらなる体質強化のための構造改革を実施するも
一過性の収益を含め、営業利益1,000億円を達成する

- 今回実施したM&Aに伴う負ののれんによるアップサイド
- 販売減、急激な為替環境悪化の影響によるダウンサイド

(百万円)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期			
		1Q - 3Q実績	4Q予想	通期予想	前期比
売上高	1,124,140	952,485	347,515	1,300,000	+15.6%
営業利益	92,136	67,081	32,919	100,000	+8.5%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	68,935	43,942	27,058	71,000	+3.0%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	170.08	107.06	65.70	172.76	+1.6%

事業利益ベースでの増益へ

外部環境の改善

半導体不足：影響を受けたすべての市場の回復
COVID-19：ウィズコロナによる正常化
航空機関連：完全復活へ



ベアリング

在庫調整の終了と自動車・データセンターは回復へ



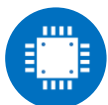
航空機関連

営業利益は下半期までにコロナ前の水準まで回復



モーター

顧客生産調整終了、自動車向けは引き続き大きく成長



アナログ半導体

好調継続に加え、滋賀工場の収益寄与



OIS

引き続き堅調を維持、歩留まり改善に全力を傾注する



アクセス製品

ユーシンの利益改善に加え、ホンダロックの寄与

不透明な状況

マクロ経済の減速：需要の鈍化
金利・為替の変動：事業環境の悪化
インフレの進行：原材料費、経費の上昇

革新的な精度向上により回転性能を向上

社会的課題の解決へ貢献

回転トルク

約 **40%**

低減!

当社従来品と
スーパーベアリングの
Difference



モーターでの
電力値

約 **4~5%**

低減!

期待される効果

- ↑ トルク低減によるモーター効率の向上
- ↑ 静粛性・製品ライフの向上
- ↓ CO₂排出量の削減

想定される用途

- ・エアコン用
- ・データセンター用
ファンモーター
- ・家電モーター など

今年度内に
量産開始予定

来年度後半に
月産35百万個へ

ミネベア アクセスソリューションズ (旧ホンダロック) とユーシンでのシナジー

製品シナジー (クロスセルの推進)

	ユーシン	MAS
ドアラッチ	○	×
スピンドルドライブユニット	○	×
ヒーターコントロール	○	×
オーバーヘッドコントロール	○	×
ドアミラー	×	○
ホイールセンサー	×	○
キックセンサー	×	○

*MAS = ミネベア アクセスソリューションズ

Minebea AccessSolutions



拠点シナジー① (生産能力と拡大分吸収)

	ユーシン	MAS
中国 (中山)	○ ←	×
タイ	○ ←	×
メキシコ	×	○ →
ブラジル	×	○ →

拠点シナジー② (新たな拠点の獲得)

	ユーシン	MAS
ヨーロッパ	○	×
アメリカ	×	○
ベトナム	×	○
インドネシア	×	○

自己株式取得に係る事項を決議（2023年2月3日）

- 取得株式総数： 上限 450万株
（発行済株式総数（自己株式を除く）の1.09%）
- 取得株式総額： **上限 100億円**
- 取得期間： 2023年2月6日から2023年6月23日まで
- 取得理由： 株主還元および資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため

グリーンボンドを発行

グリーンボンドとしては初めての発行。グリーンボンド・フレームワークの適格事業（ボールベアリングの生産及び研究開発、脱炭素電源調達）に対する新規支出及びリファイナンスに充当予定。

社債の名称	ミネベアミツミ株式会社 第10回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
発行年限	5年
発行額	250億円
利率	年0.42%
発行日	2022年11月25日

CDP調査において気候変動で「A-」 ウォーターセキュリティで「A」を獲得

英国の非営利団体CDPによる企業の気候変動への対応に関する調査「CDP気候変動2022」および水資源管理に関する調査「CDPウォーターセキュリティ2022」において、各々「A-」、「A」評価を獲得。



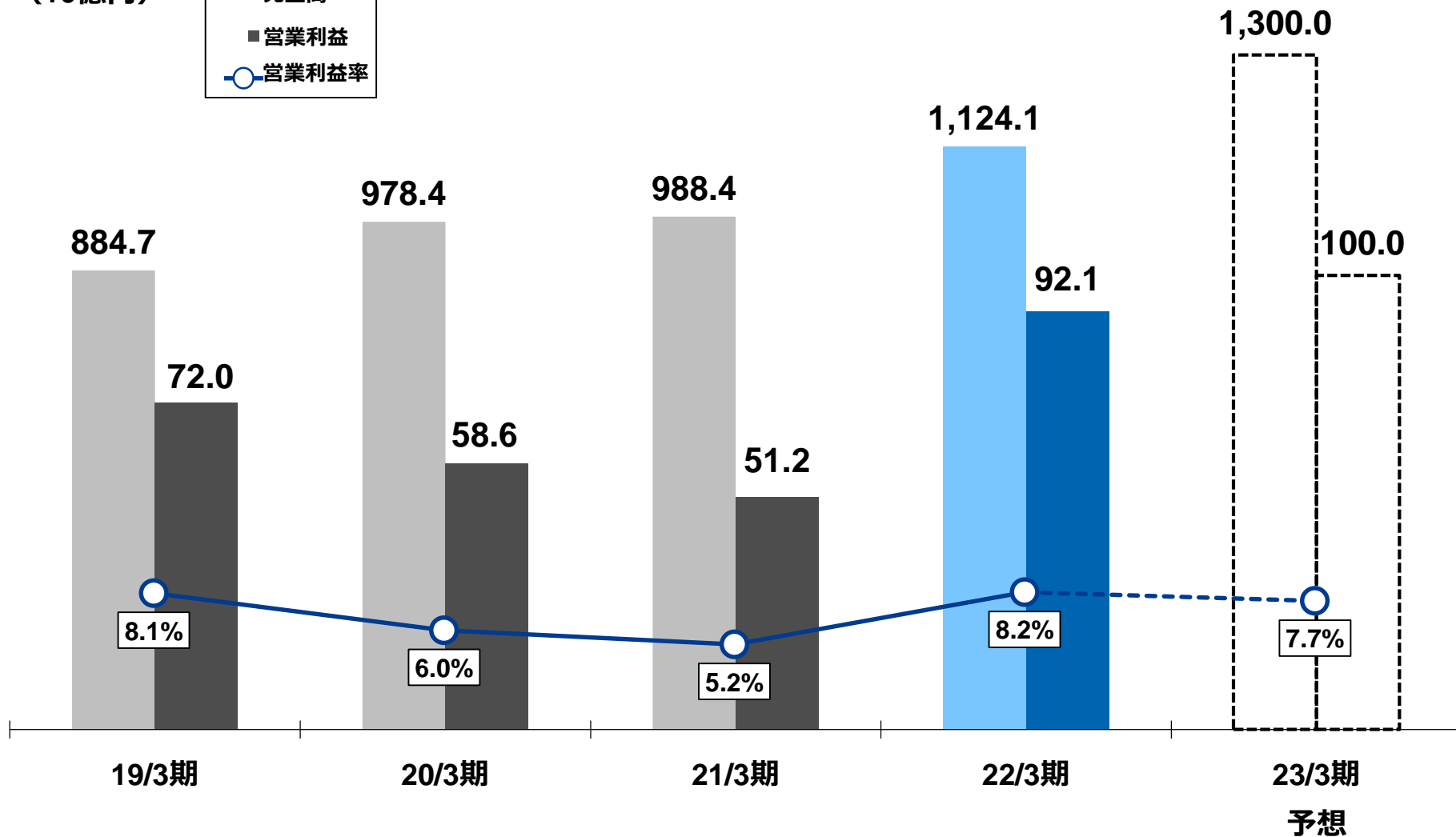
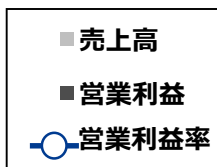


当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しています。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

參考資料

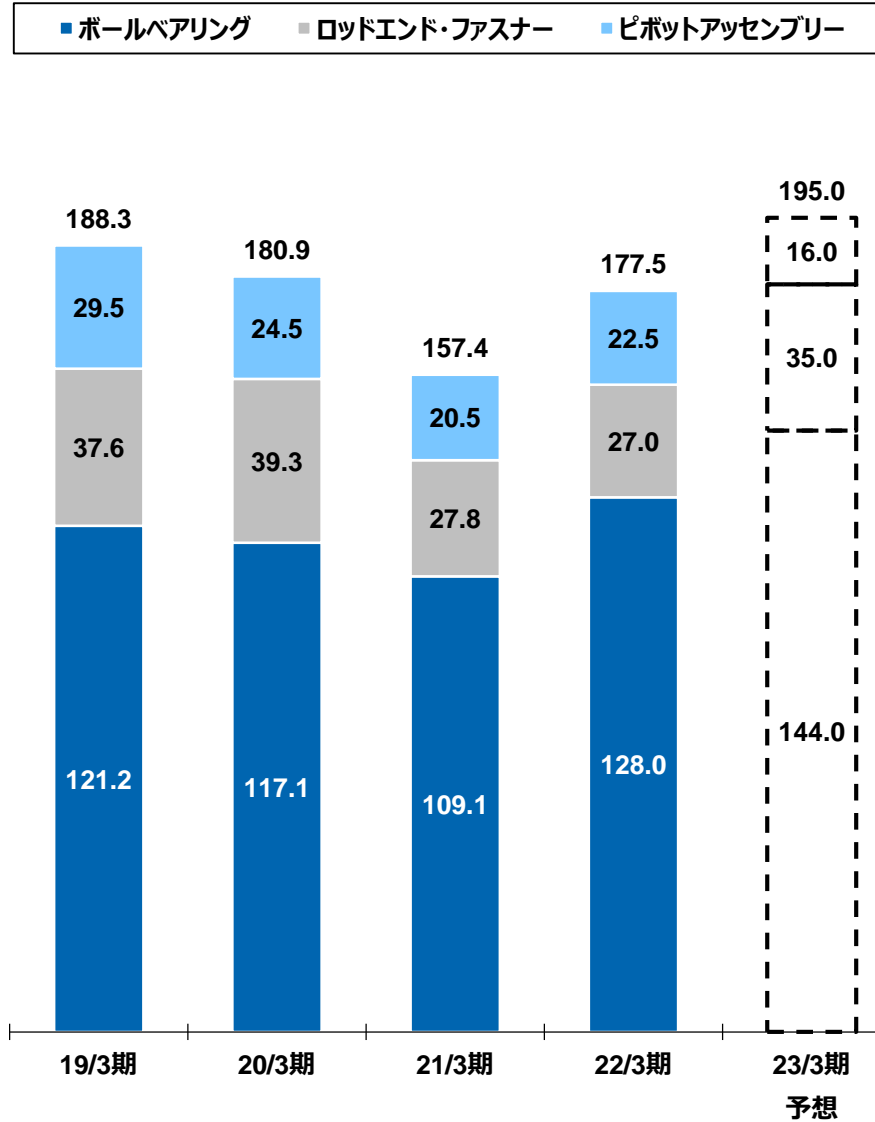
売上高、営業利益、営業利益率

(10億円)

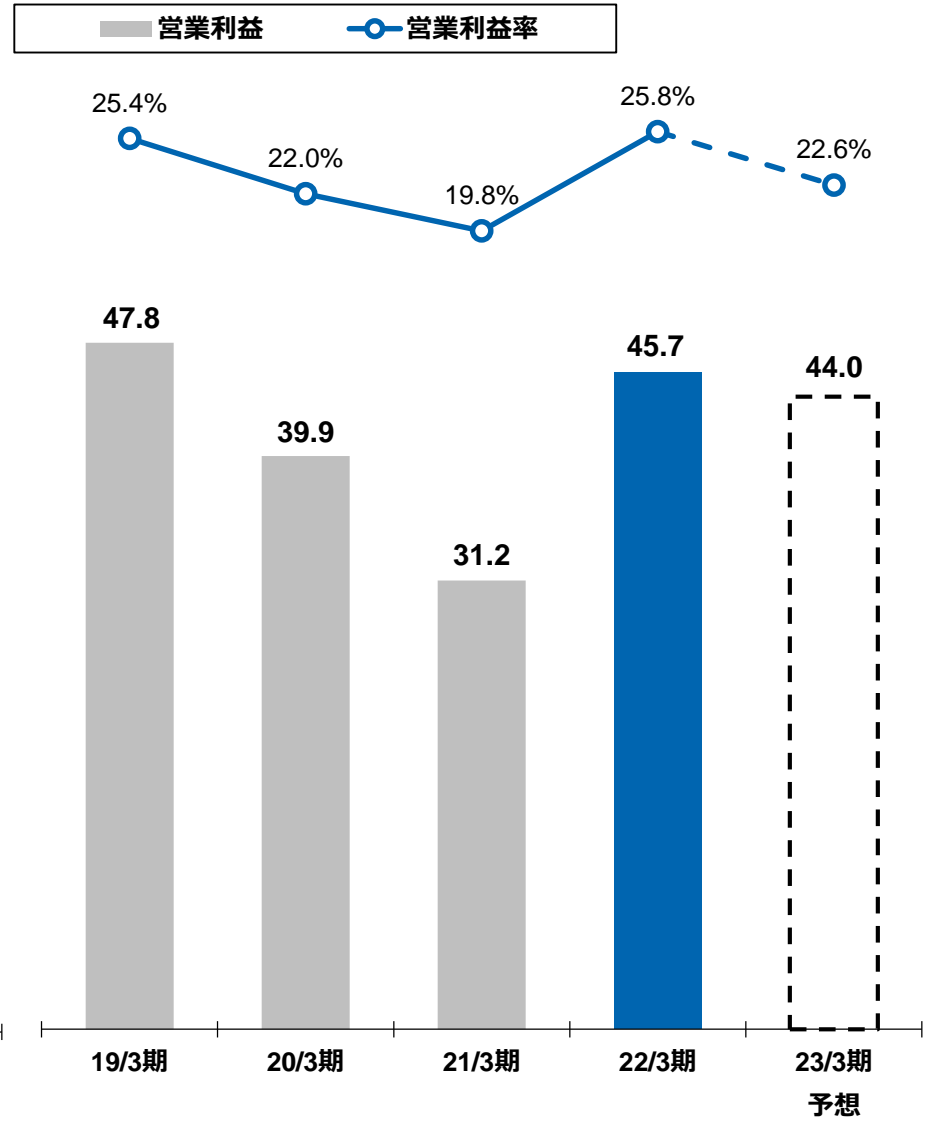


機械加工品セグメント

売上高 (10億円)

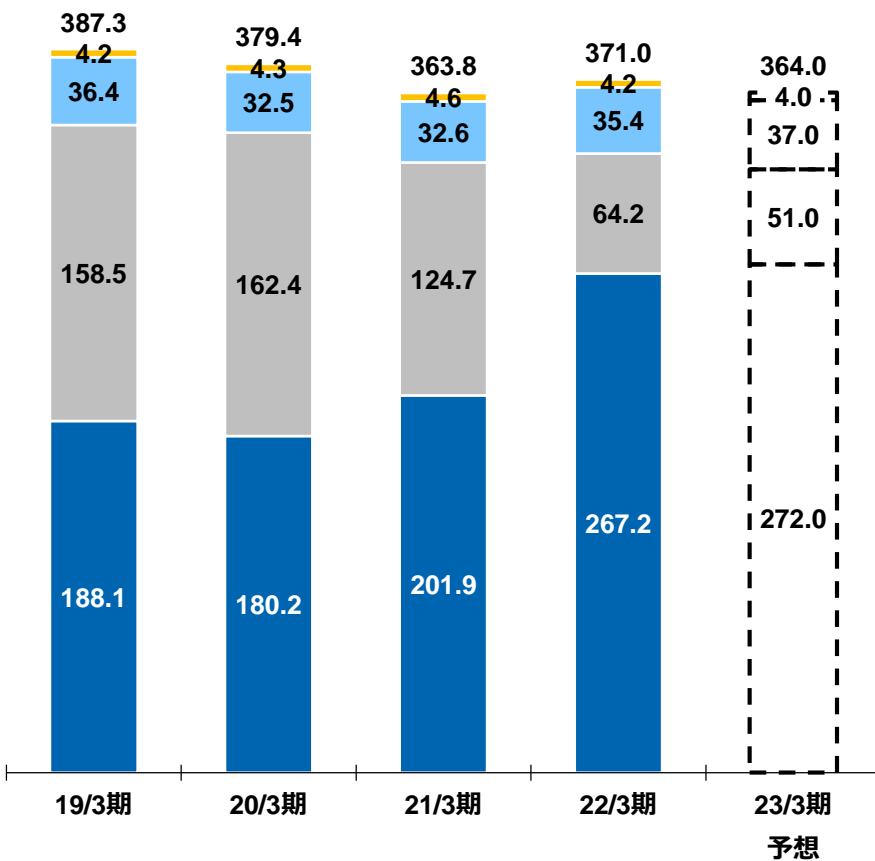
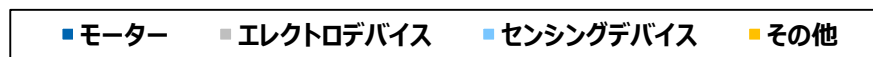


営業利益 (10億円)

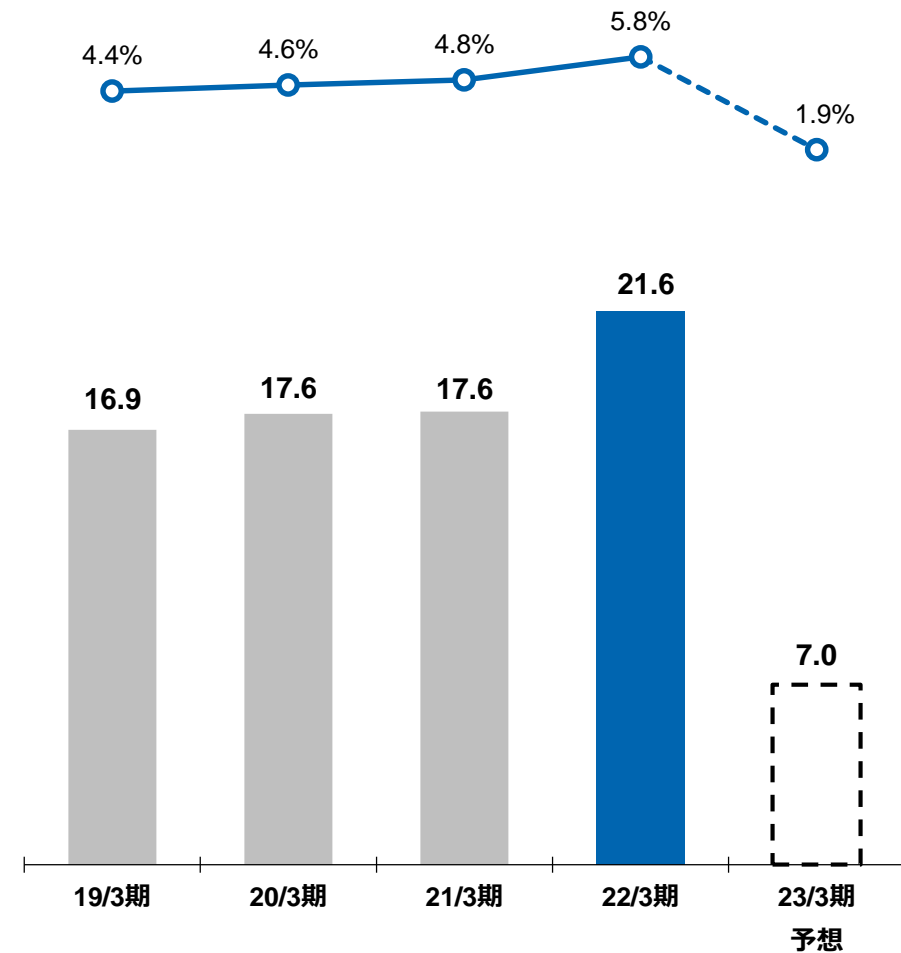


電子機器セグメント

売上高 (10億円)

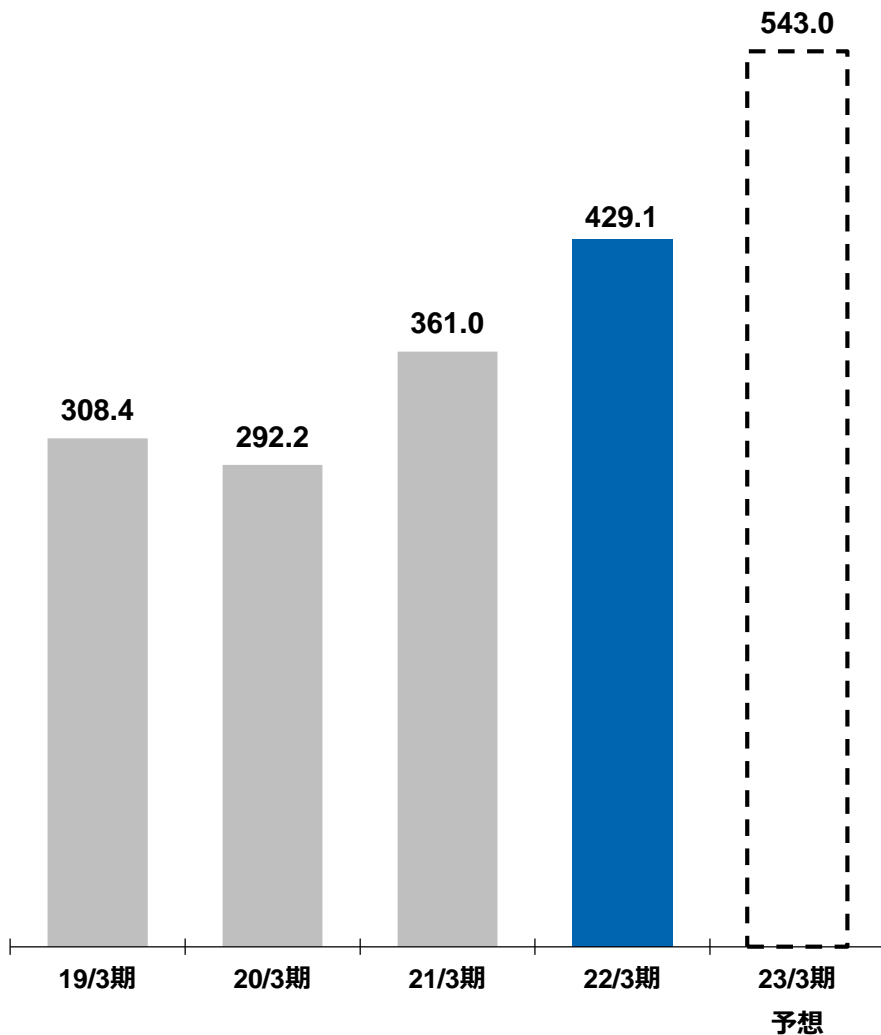


営業利益 (10億円)

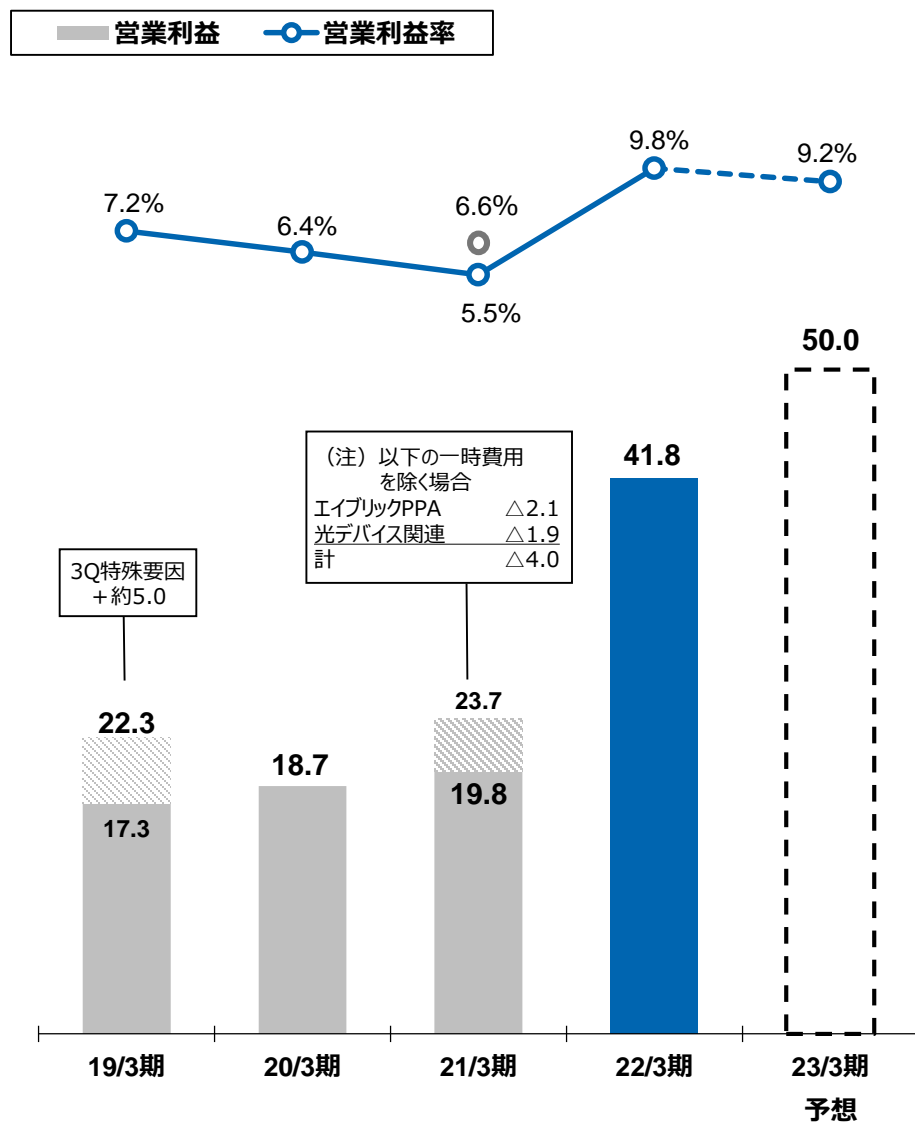


ミツミ事業セグメント

売上高 (10億円)



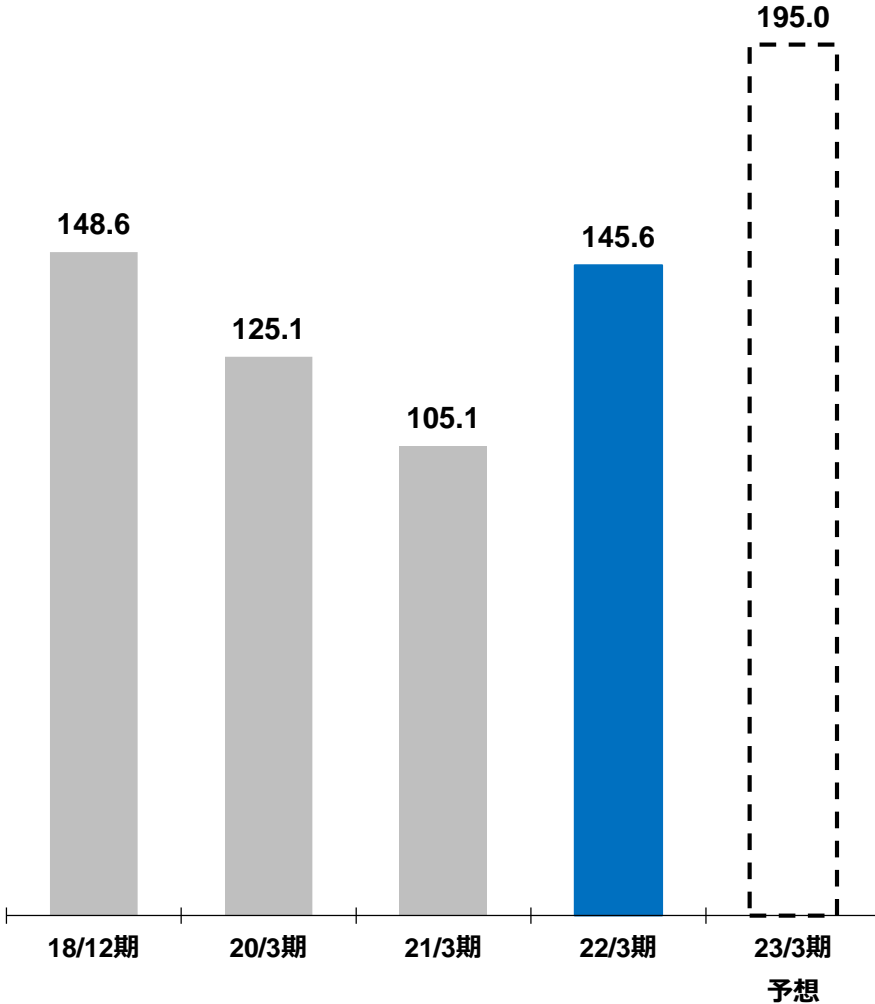
営業利益 (10億円)



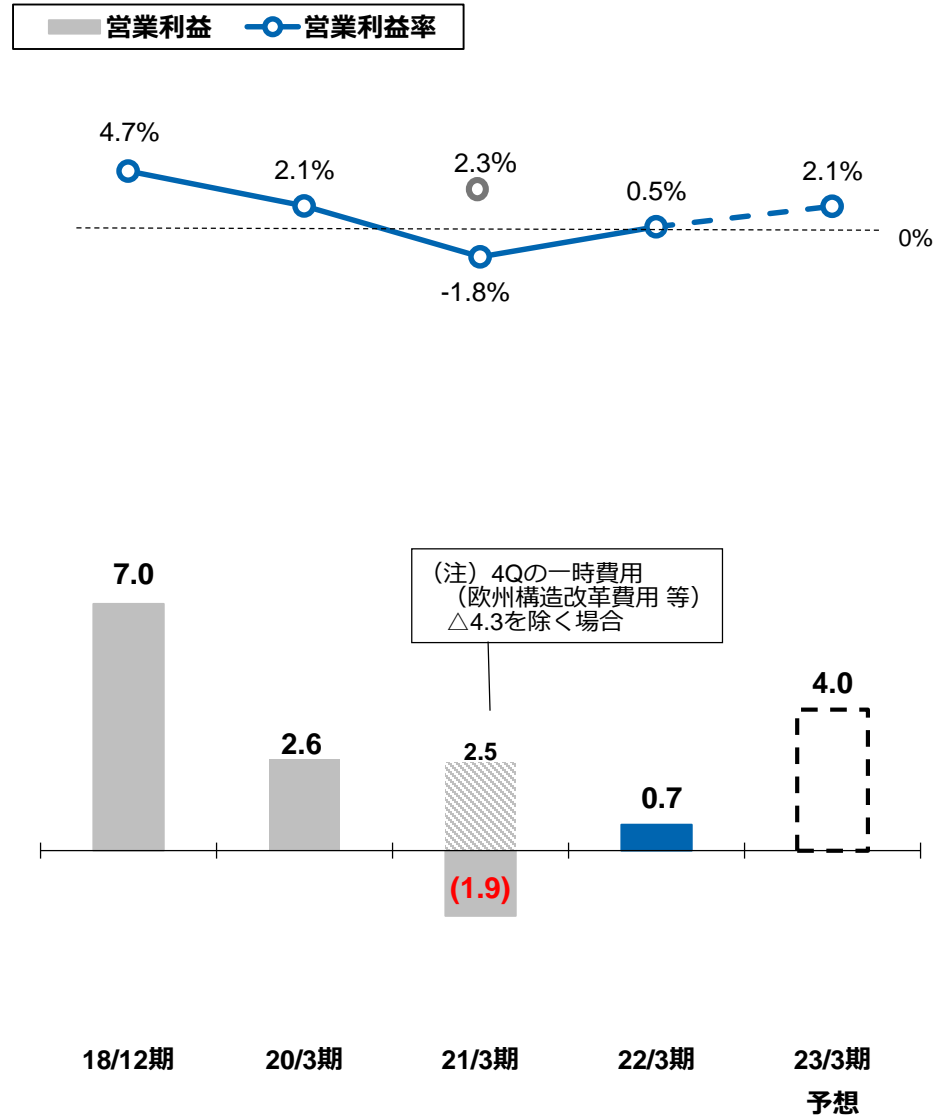
ユーシン事業セグメント

決算期変更に伴い
18/12期は経営統合前の参考値でJGAAP
20/3期は2019年1-3月の数値を含まず

売上高 (10億円)



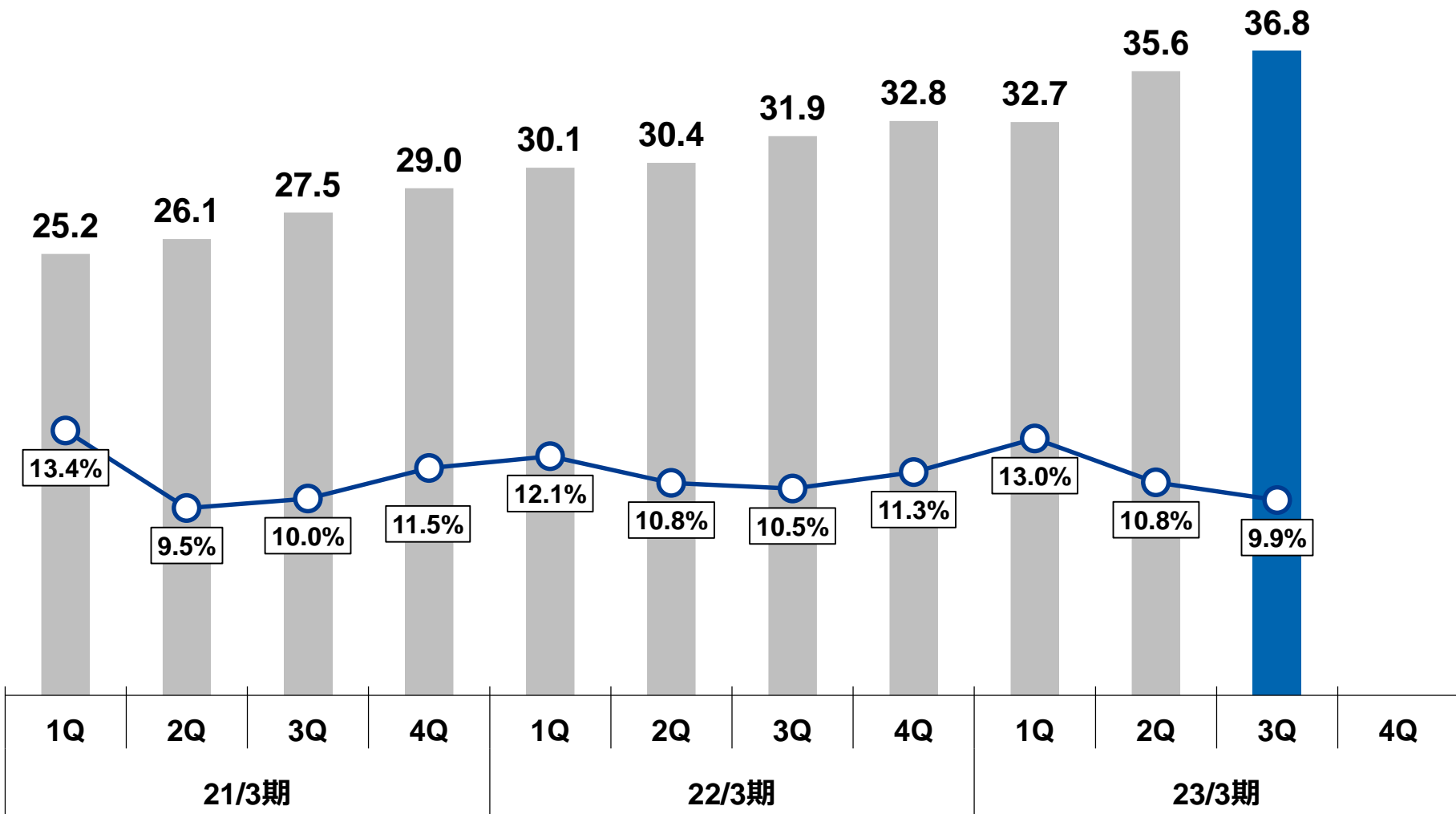
営業利益 (10億円)



販管費

(10億円)

■ 販管費 ○ 売上高販管費比率

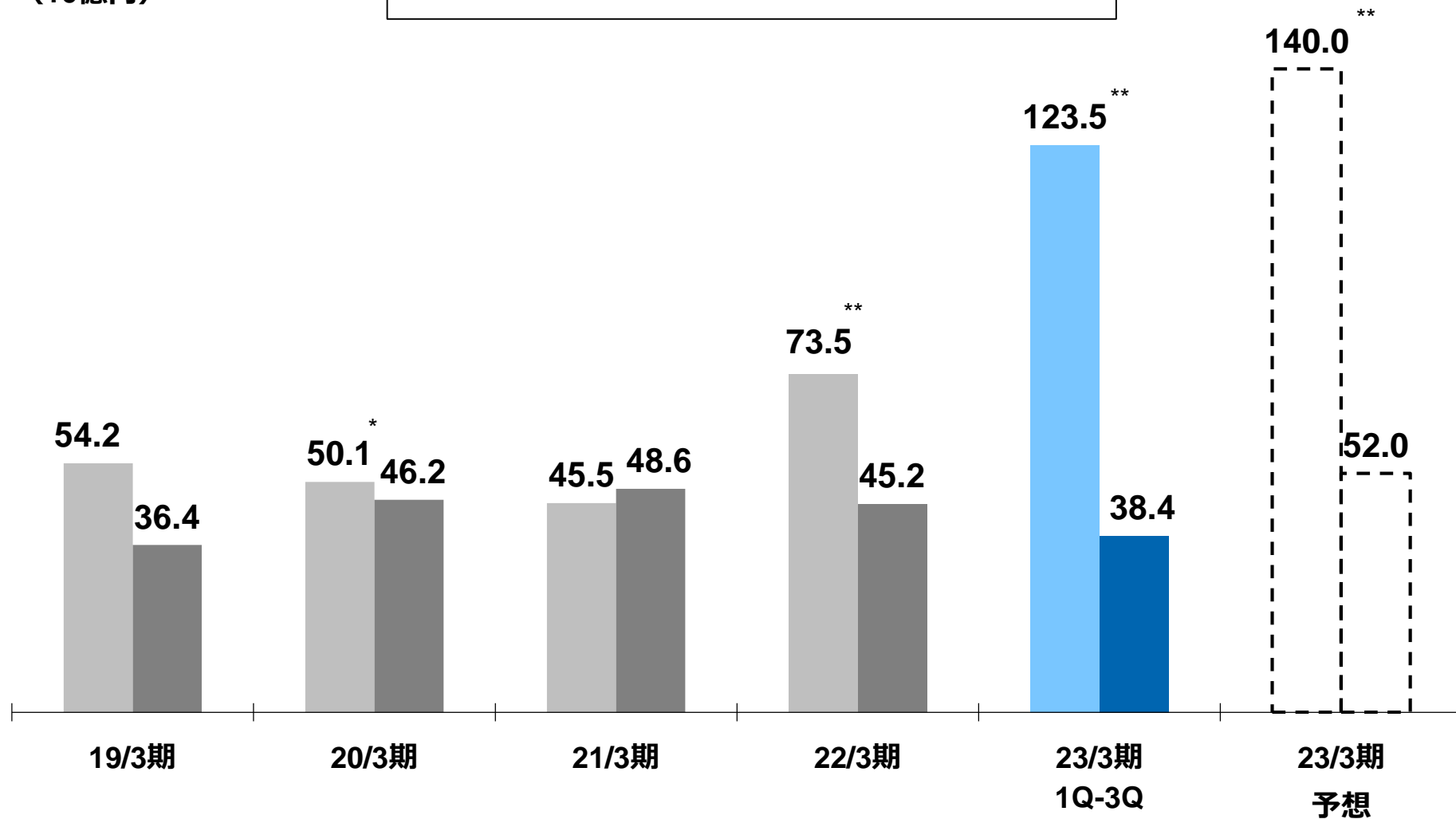


設備投資額・減価償却費

(10億円)

■ 設備投資額

■ 減価償却費



*20/3期 設備投資額には、IFRS16号適用開始日に増加したリース資産は含まれていません。

**22/3期、23/3期の設備投資額には、新本部ビル取得費用が含まれています。

ROIC (投下資本利益率)

ユーシン事業は19/3以前は経営統合前の参考値でJGAAP、
 全社には含まない。その他のセグメントは18/3期はJGAAP

ミネベアミツミ版
 ROIC

$$\text{ROIC} = \frac{\text{NOPAT (営業利益+特別損益)} \times (1 - \text{税率})}{\text{投下資本 (受取手形+売掛金+棚卸資産+固定資産-支払手形-買掛金)}}$$

セグメント別で管理できる事業資産（売上債権・債務、棚卸資産、固定資産）で算出

